

品質規格表

品名 塩酸 8.5% (食品添加物)
(薬品名: 塩化水素)

品質規格

検査項目	単位	規格値	備考
HCl(塩化水素)	%	8.5~9.4	食品添加物公定書第9版
比重 (15°C)	-	1.040~1.050	実測値
外観	-	-	食品添加物公定書第9版
鉛(as Pb)	$\mu\text{g/mL}$	1以下	食品添加物公定書第9版
ヒ素(as As)	$\mu\text{g/mL}$	1.5以下	食品添加物公定書第9版
鉄(as Fe)	$\mu\text{g/mL}$	30以下	食品添加物公定書第9版
硫酸塩(as SO_4)	W/V%	0.48以下	食品添加物公定書第9版
強熱残分	%	0.02以下	食品添加物公定書第9版
[備考] 食品添加物公定書第9版 規格値品質は出荷時保証とする			

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : pH調整剤用薬剤
品目番号 : RSW0071
会社名 : 株式会社タクミナ
住所 : 大阪市中央区淡路町2-2-14 (〒541-0047)
電話番号 : 06-6208-3971 FAX番号 : 06-6208-3977
担当部門 : 緊急連絡先 : 品質保証部
電話番号 : 079-679-2215 FAX番号 : 079-679-5775

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外
自然発火性液体 : 区分外

健康有害性

急性毒性 (経口) : 区分4
急性毒性 (吸入) : 区分4
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1
呼吸器感作性 : 区分1

環境への影響

水生環境急性有害性 (急性) : 区分2
水生環境急性有害性 (慢性) : 区分外

*上記で記載がない危険有害性は分類対象外か分類できない。

シンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害情報

: 飲み込むと有害のおそれ
吸入すると有毒のおそれ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期または反復暴露による歯、呼吸器の障害
水生生物に有害

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品 (水溶液)
成分及び含有量 : 塩酸 8.5~9.5%
化学式または構造式 : HCl
化審法 : 1-215
CAS番号 : 7647-01-0

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所へ移動して安静にし、直ちに医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水で十分に洗い流す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、水または牛乳を飲ませる。無理に吐かせようとしない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 大量の水。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 特有の消化方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能の際は、容器及び周辺に注水して冷却する。
消火作業の際は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに大量に排出されないように注意する。
- 除去方法 : 流出防止用の堤防を作り、空容器に回収する。できるだけ取り除いた後、漏出した場所は多量の水で洗い流す。
アルカリ（消石灰やソーダ灰）で中和してから排出する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : ・作業時は必ず保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴などの保護具を着用する。
・キャップを開けるときの液が飛び出すことがあるので注意する。また、容器を移動するときはキャップをしっかり閉める。緩んでいると液が跳ねて目や皮膚に付くことがある。
・用途以外には絶対に使用しない。
・使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。
- 保管 : ・直射日光のあたる場所、高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。
・塩素系漂白剤やアルカリ性物質と同じ場所に保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 局所排気装置または全体排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会（2009年度版） : 5 ppm
ACGIH（2009年度版） : 2 ppm
- 保護具 : 手の保護具 ; ゴム手袋
目の保護具 ; 保護メガネ
呼吸器の保護具 ; 防毒マスク

9. 物理的及び化学的性質

- 形状・色 : 無色透明液体
- pH : 3.0 以下

沸点 : 約 105°C
融点 : 約-15°C
比重 : 1.05 ± 0.05
溶媒に対する溶解性 : 水とどんな割合でも溶解する。
引火点 : なし (不燃物)

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取り扱いでは安定である。
反応性 : アルカリ性物質と反応して発熱する。
塩素系漂白剤と反応し、塩素ガスを発生する。
アルミニウム、銅・銅合金などの金属に対する腐食性を有する。
避けるべき条件 : 塩素系漂白剤およびアルカリ性物質との接触、40°C以上の高温化での保管、
直射日光下、開放状態
危険有害な分解生成物 : 塩素系漂白剤との反応により発生する塩素ガス

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ; 区分4 (飲み込むと有害)
経皮 ; 区分外
吸入 (蒸気) ; 分類できない
吸入 (ミスト) ; 区分4 (吸入すると有害)
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1 (重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷)
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分1 (重篤な眼の損傷)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 区分1
(吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ)
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 区分外
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : 区分1 (呼吸器の障害)
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : 区分1 (長期または反復暴露による歯、呼吸器の障害)

12. 環境影響情報

生態毒性
魚毒性 : 水生毒性 (急性) ; 区分2
水生毒性 (慢性) ; 区分外
残留性/分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 少量の場合は、水で希釈してからアルカリ (消石灰、ソーダ灰等) で中和処理して排出する。
多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理する。
汚染容器・包装 : 使い終わった容器は、残留物の有無を確かめた上で水でよく洗ってから処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制
海上規制情報

UN No. : 1789
Proper shipping name : HYDROCHLORIC ACID
Class : 8
Packing Group : II
Marine Pollutant : NotApplicable

航空規制情報

UN No. : 1789
Proper shipping name : HYDROCHLORIC ACID
Class : 8
Packing Group : II

国内規制

国連番号 : 1789
品名(国連輸送名) : 塩酸
国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8
容器等級 : II
道路法 : 通行制限物質
船舶安全法 : 腐食性物質
航空法 : 腐食性物質

輸送の特定の安全対策及び条件：

専用容器を他の物質と共同してはならない。輸送に関しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号 : 157

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 該当しない
化学物質管理促進法(PRTTR法) : 該当しない
労働安全衛生法 : 別表第3類物質
 /通知対象物 : 該当する
 表示 : 該当する
消防法 : 該当しない
港則法 : 腐食性物質
船舶安全法 : 腐食性物質
航空法 : 腐食性物質

16. その他の情報

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上